

自然との調和、 そして地域とのつながり

盛岡森林管理署 雫石森林事務所

柏崎清文

Kiyofumi Kasiwazaki

「雫石」という名の由来を調べてみると、昔、神社の境内にあった杉の巨木の根元から湧き出る清水が、岩を伝って「たんたん」と音を立てて落ちるので、人々が水神様として拝み「滴水たんたん」と呼んで親しんだことに始まると伝えられており、実際、藩政時代には「雫石」は「滴水」と表記されていたそうです。

私が勤務する雫石森林事務所は、北東北地方の拠点都市である岩手県盛岡市の西方約16kmに位置する雫石町にあります。町の人口は約18,000人、総面積が60,901haで、うち森林面積が49,546haと町全体の80%以上を占めています。そのうち国有林は32,163haあり、町の森林面積の約65%、総面積に対しても約半分を占めています。

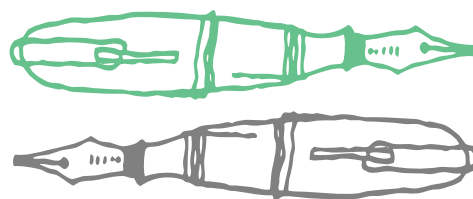
また、秀峰岩手山をはじめ1,000m以上の山が連なり、これらの山岳や高原が大部分を占め、標高300m以上が総面積の約80%に達しており、山麓部には広大な傾斜地が開かれ、森林、牧野、田畑などがのどかな田園風景をつくりだしています。

私は、昨年の8月からこちらで勤務しておりもう1年経過しましたが、職場の上司や先輩・同僚の方々に支えられながら、森林官業務である境界管理、収穫調査等をメインにして、この広いフィールドの中を駆け回って日々の業務を行っています。

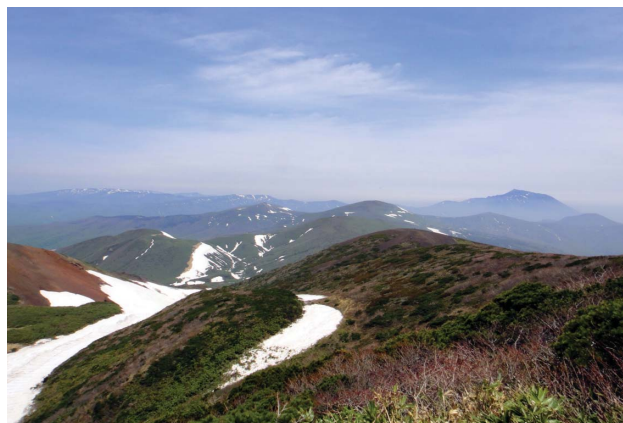
当事務所管内では、秋田駒ヶ岳と岩手山の山開きが毎年



復興を祈念し岩手山山頂を目指す



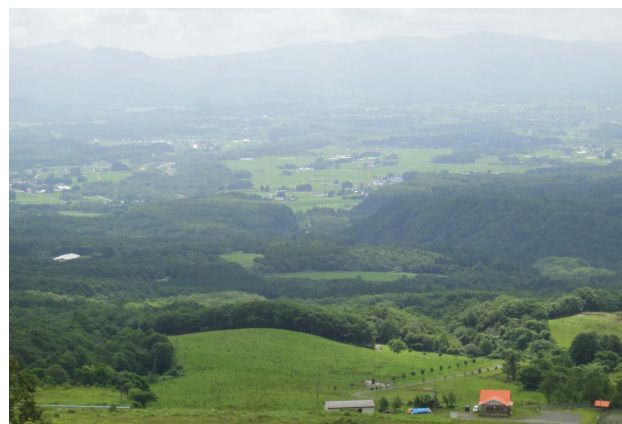
森林官からの手紙



駒ヶ岳から岩手山を遠望(表紙)

開催されており、今年は両方の登山に参加することができました。今回は特に、3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々の早期の復興を祈念した登山となり、参加者も例年以上に多く、私も山頂で一刻も早い復旧復興を祈念してきました。

雫石町は、自然が豊かで観光地等も充実しており大変住みやすい町だと感じていますが、この豊かな自然との調和を図りつつ国有林野事業を推進していくためには、今後とも地域からの声を可能な限り収集し、連携・協調していくことが不可欠であると思います。これからも、地域とのつながりを大切にし、微力ながら業務に取り組んでいきたいと考えています。



緑に包まれる雫石町